

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学保健科学部理学療法学科では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 6月

福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 楠本泰士

研究課題名

通所支援施設に定期的な通所をしている重症心身障害児の身体機能・社会性・情動の推移

研究期間

2024年6月 ~ 2026年3月

研究の目的・意義

在宅で家族と共に地域で暮らす重症心身障害児(者)は推計で約 25000 人とされています。定型発達児の多くが保育園や幼稚園に通っていますが、重症心身障害児を受け入れられる通所支援施設(児童発達支援や放課後等デイサービス)は需要に対する施設の数に足りていないのが現状です。

重症心身障害児が地域で健やかに育つために、通所支援施設が必要である一方で、重症心身障害児が通所支援施設に通うことで児の発育・発達に寄与するかについて検討した調査はこれまで実施されていません。

本研究では、東京都江戸川区の通所支援施設を利用した児が、通所支援施設に通い、日中活動等の支援を受けることで、児の身体的・社会的発達、自律神経活動がどのように推移するかについて変化を追うことを目的として、日常の通所中に実施していた記録や発達検査を用いて検討します。

研究対象となる方

下記に該当する方が対象です。

- ・2020年4月から2025年3月までの期間に特定非営利活動法人 EPO の福祉サービス(通所支援施設ここね)を利用した方のうち週1回以上利用された方とそのご家族
- ・特定非営利活動法人 EPO の職員

研究の方法

- ・本研究では、研究対象者の内訳がわかるように、生年月日・初回通所日・疾患名(明確な診断名のついている方のみ)・年齢・性別・出生時からの身長、体重・保護者の方の主訴・発達検査結果・COPM・心拍パラメータ・生活習慣スケジュール・定期的に行っている保護者、職員向けのアンケート結果を施設内の記録から取得します。
- ・保護者の方の主訴は、内容ごとに分類し、発達検査やCOPMの経時変化や疾患の有無による違いを解析します。

試料・情報の利用を開始する予定日

2024年7月1日

研究組織

この研究の研究機関と研究責任者、および既存試料・情報の提供のみを行う機関とその提供する者の氏名は次のとおりです。

集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学保健科学部理学療法学科で利用し解析を行います。

【研究組織】

研究責任者	福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 楠本泰士
既存試料・情報の提供のみを行う機関	特定非営利活動法人 EPO 理事長 宮代 祐希

この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

連絡先

〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号

公立大学法人福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 担当 楠本泰士

作成日: 2024年 5月 23日(第1.1版)

電話:024-581-5543 FAX: 024-581-5528

E-mail:kusumoto@fmu.ac.jp